

2025 年度  
学生募集要項

◆ 編入学選抜



# 目次

## I. アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

- 1. 東北工業大学の建学の精神・教育理念 ..... 1
- 2. 学科の教育方針／アドミッション・ポリシー ..... 2

## II. 編入学選抜概要

- 1. 求める学生像(アドミッション・ポリシー) ..... 3
- 2. 入試の特徴 ..... 3
- 3. 募集人員 ..... 3
- 4. 出願資格 ..... 3
- 5. 入試スケジュール ..... 3
- 6. 選抜方法 ..... 3
- 7. 試験場 ..... 3
- 8. 編入年次 ..... 3
- 9. 試験科目および試験時間 ..... 4

## III. 出願方法・出願書類

- 1. 出願方法・出願書類 ..... 4
- 2. 検定料 ..... 5
- 3. 出願にあたって ..... 5

## IV. 試験に関する事項

- 1. 試験当日の諸注意 ..... 5
- 2. 合格者発表 ..... 6
- 3. 個人情報の取り扱いについて ..... 6
- 4. 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談 ..... 6
- 5. 入学手続 ..... 7
- 6. 納付金(学費等) ..... 7
- 7. 入学金優遇制度のご案内 ..... 8

2025年度 編入学選抜科目の内容について(専門科目) ..... 9

2025年度 編入学選抜科目の内容について(小論文) ..... 9

# I. アドミッション・ポリシー（入学受け入れ方針）

## 1. 東北工業大学の建学の精神・教育理念

### 建学の精神

わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を養成する

### ブランドスローガン

未来のエスキースを描く。

#### 大学の理念

人間・環境を重視した、豊かな生活のための学問を創造し、それらの統合を目指す教育・研究により、持続可能な社会の発展に寄与する

#### 教育方針

専門家として必要な素地、調和のとれた人格、優れた創造力と実行力を備えた人材の育成

### 本学の学生が身に付けるべき「共通学士力」

創造力	培った知識・技能を用いて、積極的・主体的にチャレンジし、学問・技術・環境・製品・サービス等、社会に役立つ新たな価値を創造することができる。	① 情報収集・分析力	課題発見・解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査することができ、それらの情報を論理的かつ多角的に分析して、現状を正しく把握することができる。
		② 論理的思考力	現象や事実の中に隠れている問題点とその要因を発見して、解決すべき課題を設定することができ、さまざまな条件を考慮して解決策を具体化し、実行に移すことができる。
統合力	創造したものを応用して、社会や人類のために正しく役立てることができるとともに、異文化、異分野、考えの異なるモノや人、多様な物事を組み合わせる柔軟な発想ができ、他者や地域との連携・協力・共創により、社会に貢献することができる。	③ 課題発見・解決力	現象や事実の中に隠れている問題点とその要因を発見して、解決すべき課題を設定することができ、さまざまな条件を考慮して解決策を具体化し、実行に移すことができる。
		④ コミュニケーション力	自らの考えをまとめ、的確な方法・表現で主張することができ、多様な文化・分野の価値観の違いを理解し、他者と協調することができる。
		⑤ セルフマネジメント力	向上心を持って学びを継続し、職業人としての意識を高めるとともに、修得した技術や知識を、社会の一員として主体的に地域の持続的発展のため役立てることができる。

### AEGGポリシー

#### A 入学受入の方針

Admission Policy

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、以下のいずれかを評価して入学を受け入れる。

1. 基礎学力を身に付け、総合的な判断力を有すること
2. 専門分野に秀でた能力を有すること
3. 意欲的で目的意識が明確なこと
4. 多様な活動実績や一芸に秀でた能力を有すること

#### E 教育課程表の編成・実施の方針

Education Policy / Curriculum Policy

G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で教育を行う。

1. 幅広い知識と理解力を養うとともに、共通学士力と専門学士力を身に付けさせるため、体系的な教養教育と専門教育のカリキュラムを編成する。
2. 学士力の向上を意識して学修させるため、各科目と学士力の対応関係を明示するとともに、科目間の繋がりを明確にしたモデルカリキュラムを示す。
3. 学士力の達成度を常に把握し、個々の学生に応じたきめ細かな教育を施すため、初年次から卒業までの継続的な少人数教育並びに個別的学修支援を行う。
4. 科目ごとの成績評価と、身に付けるべき学士力との対応関係に基づき、学修成果（学士力到達度）を明示する。

#### G1 学位授与方針

Graduation Policy / Diploma Policy

本学は、本学が定める教育目的及び教育方針に基づき、各学科所定の卒業要件単位を修得することを通して以下の学士力を身に付けた学生に対し、卒業を認定し「学士」の学位を授与する。

1. 「共通学士力」を身に付けている。
2. 各専門分野（学部・学科）における「専門学士力」を身に付けている。

#### G2 学生の指導方針

Guidance Policy

本学学生の個性を重んじ、その成長と進路の自己設計のため、また、G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で学生の指導を行う。

1. 学内外の多様な正課外活動の体験を通して、社会の一員としての意識を醸成するための指導を行う。
2. キャリア教育並びに専門教育科目、研修等を通して、職業人としての意識を醸成するための指導を行う。

## 2. 学科の教育方針／アドミッション・ポリシー

工学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
電気電子工学科	電気電子工学の基礎と応用を学び、電子機械・ロボット、医工学・バイオ、または光・情報デバイスの分野の専門知識と技術を修得することができる。実践的な教育を通して、地域や産業界が求める創造力のある柔軟性に富む人材の育成を目指す。	本学で定める入学条件に加え、以下の条件を満たす人の入学を強く希望する。 1. 電気電子工学に興味を持ち、この分野に関して自ら学び・自ら考え、さらに新しいことに自ら挑もうとする強い意志のある人。 2. 今日の高度情報化社会における電気電子、医療、電力、自動車産業の分野で活躍し、自らの専門知識と技術で社会の役に立ちたいと考えている積極性のある人。
情報通信工学科	情報処理技術と通信技術を体系的に学ぶことのできる教育プログラムにより、ハードウェアとソフトウェアの両方の専門知識を有し、幅広い視野から物事をとらえることのできる、高い倫理観を持った情報処理技術者、通信技術者を育成する。	高度情報化社会を支えている情報通信分野に関心を抱き、将来この分野で活躍したいとの意欲と目的を持ち、基礎学力を身につけ総合的な判断力を有する人、あるいは情報通信分野に秀でた能力を有する者、多様な活動実績等を有する者を求めている。
都市マネジメント学科	社会基盤の計画と建設および維持管理の専門知識（高度な技術力）、地域社会の歴史や文化を知り将来を創造するデザイン力（構想力）、都市や地域の構想を実現させ、また建設プロジェクトを遂行する上で不可欠となるマネジメントとコミュニケーションの能力（実行力）をもつ人材を育成する。具体的には、(A)【良識と倫理観】、(B)【科学的知識】、(C)【自己啓発】、(D)【相互理解と協力】、(E)【専門的知識】、(F)【語学力と国際性】の能力を身につけられるように教育する。	社会基盤の計画と建設および維持管理に関心をもち、土木分野におけるリーダーまたはプロフェッショナルとして、地域の歴史や風土を生かした未来をデザインし、心豊かに暮らせる個性的で良質な地域社会を創り出すとする、その意欲と能力のある人を求める。
環境応用化学科	応用化学および環境学の体系的教育を基礎として、材料開発とその管理・製造技術と、環境影響評価と管理、エネルギーおよび環境保全技術について学び、もって持続可能な社会の実現および地域社会の発展をめざして創造的に活躍することのできる人材を育成する。	材料・素材開発などの応用化学やそれを工業化するための化学工学技術、化学物質による人体・生態系への影響評価と公害防止などの環境保全技術に関心をもち、基礎学力と高い倫理観を身につけ、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした専門能力を築き上げる意欲を持つ人を求めている。
建築学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
建築学科	本学科は、学生個々の主体的学びを促し、教育課程内外および国内外でのさまざまな議論の場を通じて自信と創造力を養い、建物の作り手、使い手双方の視点を兼ね備えた社会に貢献できる建築技術者・設計者の養成を教育理念とする。早期に建築士資格を取得し、社会で活躍する強い意志と高い意欲を持つ人材の育成を目指す。	本学科の教育理念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域／国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する建築技術者／設計者を目指して努力しようとする人を入学試験により選抜する。
ライフデザイン学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
産業デザイン学科	デザインとは、社会を快適にするアイデアを生み出し、具体的な形にする知恵である。製品からサービスまで幅広い分野で工学をベースとするデザインを生かし、リーダーシップをとれる専門家（デザイナーや各種クリエイター）を育成する。	将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。
生活デザイン学科	心身ともに健康でより豊かな生活環境を創造することのできる人材育成を行う。生活者の視点に立って、住まいと地域における安全で安心な生活を築くのに必要な知識や手法を身につける。そのために、工学をベースにしながら文理融合型の教育・研究を行う。	本学科の教育理念を理解した上で、以下の事柄に関して強い関心と意欲のある人の入学を強く希望する。 1. 住まいと地域における心身の健康と安全安心に関心を持つこと。 2. 健康で快適そして安全安心な生活環境を、総合的にデザインできるようにになりたいという意欲を持っていること。 3. 積極的に他人と関わりあいながら、自分を高め成長する意欲があること。
経営デザイン学科	経営学、コミュニケーション学を中心とした幅広い学問領域を学ぶことにより、国際的センスと高いコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。人々の生活をより豊かにするための、実践的経営に関する教育・研究を行う。	経営学（経済学・会計学などの周辺領域を含む）、コミュニケーション学（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）およびその両者をつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。社会を豊かにし、人の役に立ちたいと願う公共的精神を持っていること。基礎的な学力があり、大学レベルの学問を理解することができること。

## II. 編入学選抜概要

### 1. 求める学生像（アドミッション・ポリシー）

大学・短期大学、高等専門学校、専門学校を卒業した者で、さらに高度な学問的知識と技術を身につけたいという強い目的意識と勉学意欲をもつ者。

### 2. 入試の特徴

大学・短期大学、高等専門学校、専門学校（専門士の称号必要）出身者を対象に、編入学選抜を実施しています。もちろん学士編入も可能です。編入学年次は3年次ですが、編入前の単位取得状況によっては、編入学後2年間で卒業できないことがあります。

### 3. 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
工 学 部	電気電子工学科	若干名
	情報通信工学科	
	都市マネジメント学科	
	環境応用化学科	
建 築 学 部	建築学科	
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	
	生活デザイン学科	
	経営デザイン学科	

### 4. 出願資格

次の（1）～（5）のいずれかに該当する者。

- （1）短期大学を卒業した者または2025年3月に卒業見込みの者。
- （2）高等専門学校を卒業した者または2025年3月に卒業見込みの者。
- （3）本学以外の大学に2年以上在学し（2025年3月までに2年以上在学となる場合を含む）、62単位以上を修得した者または2025年3月修得見込みの者。
- （4）学士の学位を有する者または2025年3月取得見込みの者。
- （5）専修学校の専門課程を修了した者または2025年3月修了見込みの者で、専門士の学位を有する者または2025年3月取得見込みの者。

### 5. 入試スケジュール

出 願 期 間	2024年10月7日(月)～10月21日(月)必着
試 験 日	2024年11月22日(金)
合 格 者 発 表	2024年12月2日(月)15:00予定
入 学 手 続 期 限	2024年12月20日(金)

### 6. 選抜方法

書類審査、筆記試験、面接を総合的に評価して選抜します。

### 7. 試験場

仙台（本学八木山キャンパス）

住所：宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号

### 8. 編入年次

第3学年とします。

ただし、単位認定の結果によっては、編入学後2年間で卒業できないことがあります。

### 9. 試験科目および試験時間

時間		10:00~11:30 (90分)	11:30 ~ 12:30	12:30~13:30 (60分)	13:45~14:45 (60分)	15:00 ~
学部学科		試験科目(配点) 専門科目(150点) 小論文(150点)		外国語 (100点)	数学(100点) 国語(100点)	面接
工学部	電気電子工学科	電磁気学、電気回路の2科目	昼食	英語	数学 (代数・幾何) (微積分)	面接
	情報通信工学科	電気回路(必須)のほか電磁気学、基礎電子計算機の2科目のうちから1科目選択				
	都市マネジメント学科	構造力学 (不静定構造は含まない)				
	環境応用化学科	化学基礎、環境科学の2科目 ※1				
建築学部	建築学科	建築計画(建築史、住宅計画、環境工学)、建築構造(構造力学、建築材料学)の2科目				
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	小論文 ※1			国語 (古文・漢文を除く)	
	生活デザイン学科					
	経営デザイン学科					

※1: 環境応用化学科の専門科目および、ライフデザイン学部の各学科の小論文の内容は、9ページのとおり。

## III. 出願方法・出願書類

### 1. 出願方法・出願書類

出願書類	<p>①志願票、受験票(本学指定用紙)                  ②志願理由書(本学指定用紙)                  ③単位修得(見込)証明書(在学中の場合は、履修中の科目の明記があるもの)                  ④卒業(見込)証明書                  ⑤顔写真2枚(タテ4cm ヨコ3cmを所定欄に貼付)                  (顔写真は、正面向き、上半身脱帽、無背景、目元輪郭を隠していないもので、出願前3ヶ月以内に撮影したもの)                  ⑥シラバス(単位修得済みの科目については修得年度のシラバス、履修中の科目については今年度のシラバスを電子データで提出すること)</p> <p><b>【提出要領】</b>                  宛先: nyushi@tohtech.ac.jp                  件名: 【編入学選抜】シラバス提出について                  本文: 【受験者氏名】、【志望学科】を明記の上、年度ごとにシラバスをまとめシラバスを添付し、送信すること。                  ※受信確認の返信をお送りしますが送付後5日以内に返信がない場合は、022-305-3111へ問い合わせをすること。</p> <p><b>【外国人志願者】</b>                  ⑦住民票(日本在住者のみ)                  ⑧パスポートのコピー                  ※パスポートは、氏名・国籍・パスポートNo.・発行年月日記載部分をA4サイズ用紙にコピーし提出してください。</p> <p><b>【専修学校出身者】</b>                  専門士称号授与(見込)証明書等を提出してください。</p>
------	---

書類送付先	〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1 東北工業大学 入試広報課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願書類は、『簡易書留』で郵送してください。 ※郵送のみ受け付けます。</li> <li>・ 受理した書類および入学検定料は事由のいかんにかかわらず返還いたしません。</li> <li>・ 出願後の志願学科の変更はできません。</li> <li>・ 都市マネジメント学科志願者は、「エンジニアコース」と「プランナーコース」から希望のコースを志願票に記入してください。なお、入学後にコースの変更はできません。</li> </ul>

## 2. 検定料

検定料	30,000 円
	ゆうちょ銀行発行の「普通為替証書」のみ受け付けます。出願書類に同封してください。 ※送付の際、「普通為替証書」には何も記入しないでください。

## 3. 出願にあたって

### 【編入学とは】

編入学とは、本学における4年間のカリキュラムの初めの部分（第1学年または、第1～2学年）をすでに履修したものとみなして、第3学年から入学することです。出身学校（大学・短大・高等専門学校など）において修得した科目・単位数を本学のカリキュラムに照らし合わせて、振替可能な単位として認定できるかどうかを審査し、本学の授業科目に対応または関連する場合について、基準の上限を超えない範囲で単位認定を行います。単位認定の結果によっては、編入学後2年間で卒業できないことがあります。

### 【出願前の受験相談について】

入学後の既修得単位認定の状況によっては、編入後2年間で卒業できないことがあります。このような状況をご理解いただくため、出願前に受験相談することをお勧めしています。受験相談を希望する場合は、入試広報課へお問い合わせください。

なお、この受験相談は合否に一切関係なく、受験相談を行わない者も出願可能です。（単位認定の確認に時間がかかりますので遅くとも出願の1か月前までに相談を行ってください。また、受験相談時の単位認定はあくまでも予定となります。正式な認定は入学後に行います。）

### 【編入学選抜科目について】

編入学する学年は、第3学年ですので、本学の第1・2学年の学生がすでに修得している科目の内容に準じた科目について試験を行います。ただし、本学では、第1学年から専門科目を履修しますので試験科目は、数学、英語、国語のほか、専門科目として、本学のそれぞれの学科の、第1・2学年に必修科目となっている分野のうちから出題されます。

なお、学士の学位をすでに修得している志願者には、試験科目の一部または全部を免除することがあります。

### 【専修学校の専門課程修了者の編入学について】

平成11年4月1日から専修学校の専門課程修了者も編入学が出来るようになりましたが、修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上の基準を満たしている必要があります。編入学を志願する者は、上記の所定の基準を満たしていることを証明する証明書あるいは専門士の称号授与（見込）証明書を出願時に提出してください。

## IV. 試験に関する事項

### 1. 試験当日の諸注意

#### 【受験票について】

受験票は出願締切り後に発行を開始し、封筒にて郵送します。試験日の前日までに受験票が届かない場合は、入試広報課までご連絡ください。

#### 【試験会場について】

- ・ 試験会場は、本学八木山キャンパスです。
- ・ 各試験開始時刻の15分前までに試験室に入室してください。
- ・ 遅刻は、試験開始後20分まで認めます。

### 【受験上の留意事項】

- ・受験票以外で机上に置くことを許可するのは、鉛筆・鉛筆キャップ・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計(計時機能のみ)・ハンカチ・目薬・ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)およびメガネです。
- ・昼食は各自用意してください。

### 【不正行為の取り扱いについて】

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、すでに受験している科目がある場合は全ての教科・科目の成績を無効とします。
- ア. 解答用紙等へ故意に虚偽の記入(出願時に本人以外の写真を提出することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)をすること。
  - イ. カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
  - ウ. 他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。
  - エ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
  - オ. 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - カ. 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
  - キ. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
  - ク. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - ケ. 「やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- ② 次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
- ア. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。
  - イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
  - ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
  - エ. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - オ. 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
  - カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 2. 合格者発表

発表日に、合格者の受験番号を本学Webサイトに掲載するとともに、合格者に対しては、合格通知書および入学手続書類を送付します。なお、電話による問い合わせには応じかねます。

## 3. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された、氏名・住所・その他の個人情報および入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続き、入学前教育、入学後の学生支援、修学指導、学修成果に係る調査分析およびこれらに付随する業務を行うために利用します。その他の目的に利用することはありません。

※上記、個人情報の取扱いについて、同意いただける場合は、志願票の所定欄にご本人の署名をお願いします。

## 4. 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

特別な配慮を希望する入学志願者は、事前打合せが必要となりますので、出願前の早い時期に入試広報課へお問い合わせください。ただし、相談の内容および時期によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができなくなることもありますので、ご了承願います。

**【連絡先】 東北工業大学 入試広報課 TEL : 022 - 305 - 3111**

## 5. 入学手続

入学手続は、入学手続期間内に下記該当の納付金を納入し、同時に入学手続書類を提出することによって完了します。入学時納付金は、学費とその他・委託徴収金の合計になります。

学部・学科	入学時納付金
工学部（全学科）・建築学部（建築学科）	943,930円
ライフデザイン学部産業デザイン学科	943,930円
ライフデザイン学部生活デザイン学科	808,930円
ライフデザイン学部経営デザイン学科	743,930円

[注意] ・一旦納入された入学金は事情のいかんにかかわらず、返還いたしません。

・入学手続期間内に所定の手続を行わなかった場合は、入学の意志がないものとみなします。

・入学手続を完了された方で、入学辞退を希望する場合は、2025年3月31日（月）17時（必着）までに入学辞退届と入学納付金返還請求書を提出すれば、入学金を除く全ての納付金を返還します。

## 6. 納付金（学費等）

### （1）学費

2025年度編入学生に適用する学費は次のとおりです。

工学部（全学科）・建築学部（建築学科）・ライフデザイン学部（産業デザイン学科） 単位：円

費用	年次	3年次		4年次		摘 要
		入学手続時	10月	4月	10月	
入 学 金		250,000	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		490,000	490,000	490,000	490,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		160,000	160,000	165,000	165,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	10,000	10,000	
計		910,000	660,000	665,000	665,000	—

ライフデザイン学部（生活デザイン学科）

単位：円

費用	年次	3年次		4年次		摘 要
		入学手続時	10月	4月	10月	
入 学 金		250,000	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		370,000	370,000	370,000	370,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		145,000	145,000	150,000	150,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	10,000	10,000	
計		775,000	525,000	530,000	530,000	—

ライフデザイン学部（経営デザイン学科）

単位：円

費用	年次	3年次		4年次		摘 要
		入学手続時	10月	4月	10月	
入 学 金		250,000	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		340,000	340,000	340,000	340,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		110,000	110,000	115,000	115,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	10,000	10,000	
計		710,000	460,000	465,000	465,000	—

### （2）その他・委託徴収金（各学部・学科共通）

単位：円

費用	年次	3年次		4年次		摘 要
		入学手続時	10月	4月	10月	
教育研究災害傷害保険		1,750	—	—	—	2年分
教育研究賠償責任保険		680	—	—	—	2年分
後 援 会 費		14,000	—	14,000	—	年額
学 友 会 費		12,500	—	—	—	2年分
同 窓 会 費		5,000	—	—	20,000	編入学時：入会金 卒業時：終身会費
計		33,930	—	14,000	20,000	—

[注意] 本学では学園の施設整備資金の一部に充当させていただくため寄付金を募集しておりますが、あくまで任意の募集であり、入学以前にご協力をお願いすることは行っておりません。

## 7. 入学金優遇制度のご案内

この制度はご家庭の経済的な負担軽減を図るため、入学予定者の兄弟姉妹が東北工業大学の学部<sup>\*</sup>に在籍、または同時に入学<sup>\*</sup>する場合に、入学手続き時に納入した学費のうち入学金(250,000円)を対象として助成(給付)する優遇制度です。(※同時入学者については内1名が対象となります。)

申請資格は以下のとおり。(①～③すべてに該当すること)

- ① 東北工業大学の学部へ入学予定である。
- ② 申請時に兄弟姉妹が本学の学部<sup>\*</sup>に在籍している。または、同時に入学を予定している。
- ③ 入学手続きの途中、また完了している。

詳細は、合格通知書に同封される「2025年度入学手続きの手引き」をご確認ください。

2025年度 編入学選抜科目の内容について  
(専門科目)

●環境応用化学科

科目	出題範囲	出題内容
化学基礎	・物理化学、無機化学、有機化学、分析化学の各分野の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量子数と電子の軌道および分子軌道</li> <li>・酸化と還元、電池反応</li> <li>・有機化合物の構造と分類</li> <li>・溶液内平衡に基づく化学分析の原理と手法</li> </ul>
環境科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な環境問題の現象および発生機構についての基礎知識</li> <li>・環境計測の基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題（大気汚染、水質汚濁、ゴミ処理など）</li> <li>・環境に関連した生態学の知識</li> <li>・環境計測の原理</li> </ul>

2025年度 編入学選抜科目の内容について  
(小論文)

●産業デザイン学科

科目	出題範囲	出題内容
小論文	私たちの暮らしを良くするデザイン	<p>3つのテーマから1テーマを選択し、テーマに関する基礎知識の他、論理的な思考力および文章表現力をテストする。</p> <p>※1200字程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインと生活</li> <li>・デザインと社会</li> <li>・デザインと情報</li> </ul>

●生活デザイン学科

科目	出題範囲	出題内容
小論文	地域社会とともに歩む生活デザイン	<p>2つのテーマから1テーマを選択し、テーマに関する基礎知識の他、論理的な思考力および文章表現力をテストする。</p> <p>※1200字程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらしの問題に対する共助のデザイン</li> <li>・住まいの価値を高める空間のデザイン</li> </ul>

●経営デザイン学科

科目	出題範囲	出題内容
小論文	社会が大きく変化する中での経営やコミュニケーション	<p>3つのテーマから1テーマを選択し、テーマに関する基礎知識の他、論理的な思考力および文章表現力をテストする。</p> <p>※1200字程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織と人材</li> <li>・組織におけるコミュニケーション</li> <li>・ICT（情報コミュニケーション技術）のあり方</li> </ul>



2025 年度

## 学生募集要項

◆編入学選抜

未来のエスキースを描く。

# 東北工業大学

[お問い合わせ]入試広報課

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35 番 1 号

TEL.022-305-3111 FAX.022-228-1813

E-mail [nyushi@tohtech.ac.jp](mailto:nyushi@tohtech.ac.jp)

<https://www.tohtech.ac.jp>